

コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



当院からリモート発表する筆者と、ご質問に手応えを確かめる職員。

2022年6月10日に倉敷中央病院、「看護連携を奨める会」があり発表しました。私は、当院に紹介していただいた患者様が、回復期リハビリ病棟を退院し在宅生活の後、老健あかねに入所し、リハビリ継続出来ている事例を発表しました。

病前すべて自立されていた方が急に倒れ介護が必要になった場合、家族の方は「家は無理です。どこか施設に」と皆さん言われます。

そこで、まず入院時の面談にて、医学的予後予測、本人の希望、家族の希望（支援力・経済力）から「生活のゴールの共有」を行い、患者さんごとに「目標とする生活のものさし」を決めます。そして毎

本人が望む生活の場所へ 倉敷中央病院・看護連携を奨める会へ

週めざすゴールの確認と到達度を共有していきながら、本人がしあわせになれる生活の場所へ退院支援しています。施設入所することで安心・安全は保証されるかもしれませんが、しかし自由度は住み慣れた我が家にまさるものはないと思っています。

今回発表させてもらった方も自宅退院されましたが、リハには入院期限がきまつておりその期限の中では移乗動作に介助が必要な状態でした。しかし老健あかねでリハビリ合宿する中で、移乗も見守りで出来るようになってい

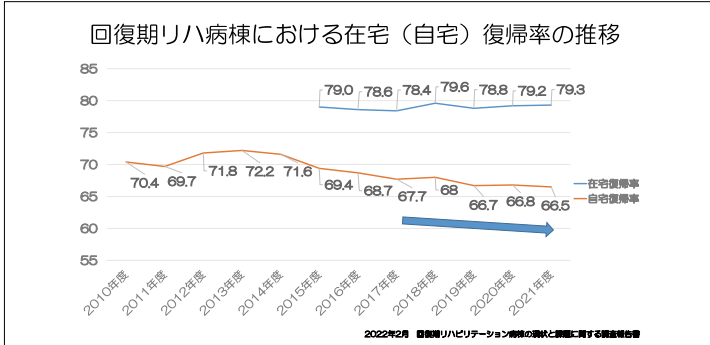


主催の倉敷中央病院はじめ圏域27病院が参加。

ました。一番うれしかったのは、本人に家での生活を聞くと「家が一番ええにきまつてるが」と元気な声で話をしてくださった事です。

昨年度の退院先をみると純粋に9割の方が自宅退院されました。それは本人が望む生活の場所へ戻るために「目標とするものさし」を常に考えた結果であり、自宅へ帰すノウハウが身についた成果だと思っています。

（コープリハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟 師長 山田小百合）



全国の在宅復帰率割合。年々、施設系への入所・入居が増え純粋な自宅復帰率は減少傾向。その中で当院は約90%「住み慣れたわが家」への退院を維持。



コミュニケーションの難しかった利用者さんと外出できる様になりました

（老健あかね 介護福祉士 塚本 光）

れた生徒さん。それぞれの生徒さんの大きな収穫となったのではないかと思います。また、介護計画は作成して終了ではなく、実施、評価、見直しを繰り返し良いものになっていくという事に生徒自身も実習を通して気付くことが出来たようでした。

今回の実習を通して利用者様に寄り添い、一人ひとりにあった介護が大切だということ事を伝えられたと思います。今後また皆さんの生徒さんたちが実習に来られますが、私自身も成長し介護の魅力が伝えられるようになっていきたいです。



レクリエーションの説明を行なう生徒さんたち

老健あかねに介護実習 倉敷中央高等学校

倉敷中央高等学校福祉科から、老健あかねへ介護実習に来られました。

3年生ともなると介護計画の立案から実施、評価までを短い実習期間の中で行います。担当利用者様の思い・ニーズは何か、どういった介護計画を立案したらいいのか苦戦している様子でした。しかし、帰宅願望のある利用者様に日めくりカレンダーの活用やリハビリメニューの日課を遂行し、訴えを減らすことができた生徒さん。ものおじせず、何事にも積極的に挑戦して成果へと導いた生徒さん。コミュニケーションの難しさに悩みながらも、利用者様が望んでいた散歩に行くことを計画・実施することで「あの生徒さんで良かった」と評価さ

未来に輝く原石

高校生が老健あかねに介護実習

5月23日～6月10日まで、高校生の介護実習が当施設で行われました。15日間で利用者体験、入浴・排泄介助、環境整備など体験し、「学校では学べなかった多くの経験が出来た。利用者様から『ありがとう。』と言って頂く事が多く嬉しかった。福祉関係の仕事がしたい気持ちが強くなった。」との感想でした。

実習終盤では認知症予防レクリエーションを生徒さんに行ってもらいました。

だけでなく、認知症予防や進行を遅らせ、心身機能の維持向上が期待され、QOL(=生活の質)を高める重要な活動として多くの効果があります。生徒さんはこれらを効果的にどう行うか考え、利用者様が楽しんで体を動かせるよう工夫して実践していました。利用者様から「今日は楽しかった。」「あかねのご飯と同じくらい良かった。」と利用者様、職員からも好評でした。



認知症予防レクリエーションを実施する実習生徒

利用者様に余暇を楽しませてくれる生徒さんの一生懸命な姿を見ると改めてレクリエーションの大切さを感じ、私達職員も逆に実習生から学ぶことや得る物が多く勉強になります。

生徒さんは未来に輝く原石、少しでも多くの介護士を生み出すお手伝いが出てくるのはとても嬉しく思います。やり甲斐のある素晴らしい職業だと、実習を通して感じてもらえるように今後も努力していきたいと思っています。

(老健あかね 介護福祉士 篠岡美代子)

職責者紹介



コープリハビリテーション病院 短時間通所リハビリテーション 主任 岡野泰樹

この4月より主任となりました。コープリハビリテーション病棟の短時間通所リハビリテーションを担当しています。岡野泰樹です。

短時間通所リハビリテーションの立ち上げ時から担当となり、当初は一人職場で介護保険制度のこともほとんど理解しておらず、他のリハビリ職員など教えていただきながら徐々に保険制度の理解を深めていきました。

会議など不在時には周りのスタッフに協力をもらい、送迎は事務職員にお願いしながら副主任として長年短時間通所リハビリテーションの運営をしてきました。途中より2人職場となり、利用者数も徐々に増えました。

様々な問題点も出てくる中、業務改善をしながら日常業務が円滑に行なわれ、利用者様に満足していただけるよう頑張っています。

今年度で短時間通所リハビリも10年目を迎え、私も主任となり、新たな気持ちで頑張りたいと思いますので宜しくお願いします。

移転から5年を迎えて

利用者さんの安心感やモチベーションの向上

訪問リハビリでは慢性疾患が併存する高齢者をはじめ、様々なケースの利用者さんと接する機会が多くあります。以前に比べると、利用者さんの年齢層や生活背景が多様になっていくように感じ、どのように介入していくかなど難しく思うところもあります。しかし、実際の生活の場で訓練の他に様々な助言や提案ができるのは訪問リハビリならではの強みだと思います。

移転から5年を迎えて、訪問件数は更に多くなり、在宅に医師も一緒に訪問し、診察や訪問リハビリ会議を行っています。医師や他職種からの意見をもちに定期的なリハビリの方針や目標を確認することで利用者さんの安心感やモチベーションが向上しているように感じています。利用者さん、そのご家族の「困りごと」や「したいこと」を聞き出し、目標を設定し、それに向けて、身体機能訓練や環境調整、生活指導などに取り組んでいます。

訪問リハビリテーション 理学療法士 加藤侑美



訪問リハビリテーション 理学療法士 加藤侑美

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院 4階病棟 介護士 坂下道子



コープリハビリテーション病院 4階病棟 介護福祉士 三浦知佳



老健あかね 介護福祉士 村上博子



コープリハビリテーション病院 4階病棟 介護士 三宅奈美

診療表							
コープリハビリテーション病院				老健あかね			
外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]				[086-446-6541]			
診療時間	外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健幸アップ教室	訪問リハビリ	通所リハビリ
午前 9:00～12:30		14:30～15:00	午後	9:00～16:50	9:30～11:00		9:00～16:00
月				○		○	○
火	渡辺	○ (予約制)	山崎	○ (予約制)		○	○
水	飯塚					○	○
木	太田		山崎	○ (予約制)		○	○
金	小田			○		○	○
土						○	○

医療福祉相談・連携室			
相談受付時間	平日	9:00～12:00	13:30～16:30
	土曜日	9:00～12:00	
	日・祝日	休み	



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00～16:30
土曜日 9:00～12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。